



第49回 日本フィル夏休みコンサート2023



S席 子供 3,400円/大人 5,400円
A席 子供 2,700円/大人 4,400円
B席 子供 2,000円/大人 3,400円

※ 子供 = 4歳~高校生
※ 4歳未満は入場できません。
チケットはお一人一枚ご用意ください。
※ 託児あり

第2部 バレエ



7月15日 土 14:00 相模女子大学グリーンホール
7月22日 土 13:00 & 16:30 横浜みなとみらいホール
7月23日 日 14:00 江戸川区総合文化センター
7月24日 月 14:00 ウェスタ川越
7月28日 金 13:00 & 17:00 東京芸術劇場
7月29日 土 13:00 & 16:30 ソニックシティ
7月30日 日 13:00 & 16:30 サントリーホール

指揮: 梅田俊明 お話とうた: 江原陽子
バレエ: スターダンサーズ・バレエ団
バレエ演出・振付: 鈴木稔

♪特設ページ



第2部 あこがれの ピアノ



8月4日 金 14:00 柏市民文化会館
8月5日 土 13:00 & 16:30 サントリーホール
8月6日 日 13:00 & 16:30 横浜みなとみらいホール

指揮: 大井剛史 お話とうた: 江原陽子
ピアノ: 上原彩子



【お申し込み】日本フィル・サービスセンター ☎ 03-5378-5911 (平日 10時~17時)
eチケット♪ <https://eticket.japanphil.or.jp>



人、音楽、自然——日本フィルのテーマです。
JAPAN
PHILHARMONIC
ORCHESTRA
——創立指揮者 渡邊 暁雄——

日本フィルハーモニー交響楽団
JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA

第388回

横浜定期演奏会

388th YOKOHAMA Subscription Concert

2023年6月3日(土) 午後5時開演

横浜みなとみらいホール

5:00pm June 3rd (Sat.), 2023, at Yokohama Minato Mirai Hall



主催: 公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団

後援: 神奈川新聞社、+vkk

協力: 横浜みなとみらいホール

助成: 文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(創造団体支援))
独立行政法人日本芸術文化振興会



文化庁



日本フィル横浜定期演奏会 50周年 〈横浜カルチュラル・ワンダーランド〉

もっと楽しく、もっと面白く、より深く！〈横浜カルチュラル・ワンダーランド〉をコンセプトに、歴史、美術、文学… 文化と音楽が響き合う新しいコンサートの楽しみ方を発信いたします。コンセプト監修に横浜国立大学教授の小宮正安氏を迎え、知れば知るほど楽しい時間をお届けしてまいります。

朝日カルチャーセンター横浜教室

横浜定期関連講座 第4弾 開催決定！

『社会文化史から読み解く「変動の時代」の話題作』講座

2023年6月10日(土) 11:00～12:30

講師：小宮正安(横浜国立大学教授)、丸山 勉(客演首席ホルン)

第389回 横浜定期演奏会(7/1)のプログラムをテーマに、社会文化史から読み解くモーツァルトとストラヴィンスキーの時代を学びます。また楽員のお話と演奏を交えた解説も。詳細はチラシ・ホームページをご覧ください。

これまでの受講者の感想

小宮先生の解説で曲の歴史的文脈を知り、実演たっぷりの楽器解剖、とても楽しい講座でした。これからクラシックコンサートに行くのがますます楽しみになりそうです。音楽の奥深さに触れた思いです。

Member's TVU CHANNEL CLASSICAL MUSIC

クラシカルミュージック <https://members.tvuch.com/>



↑詳細はこちら

アーカイブ配信中！
1000円で3か月間
何度でも！

アーカイブ配信中

- 指揮：ピエタリ・インキネン [首席指揮者] シベリウス：《クレルヴォ交響曲》最新！
- 指揮：小林研一郎 [桂冠名誉指揮者] ムソルグスキー(ラヴェル編)：組曲《展覧会の絵》他
- 指揮：広上淳一 [フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)] ショパン：ピアノ協奏曲第1番(小林愛実) 他
- 指揮：カーチュン・ウォン [首席客演指揮者] ラフマニノフ：交響曲第2番 他

「ロマン派を代表する二人の作曲家による至上的作品」

チャイコフスキーのピアノ協奏曲は、力強い勇壮な響きや民謡に由来する素朴で美しいメロディ、そして民族舞曲を象徴するリズムミク部分など、聴きどころ満載の傑作です。時代を超えて愛されるこの作品を、日本を代表する名ピアニスト小山実稚恵の独奏で聴くことができる幸せなひと時となります。後半には日本フィルの横浜定期演奏会では18年ぶりとなるシューマンの交響曲第4番を演奏いたします。30代前半に書かれ若さ溢れる生き生きとしたメロディとリズムが印象的なこの作品に、80歳を越えた大巨匠小林研一郎がどのように対峙するのか、お楽しみください。

Programs

チャイコフスキー：

ピアノ協奏曲第1番 変ロ短調 op.23 (約32分)

Pyotr TCHAIKOVSKY:

Concerto for Piano and Orchestra No.1 in B-flat minor, op.23

———— 休憩 (15 分) Intermission ————

シューマン：

交響曲第4番 ニ短調 op.120 (約30分)

Robert SCHUMANN: Symphony No.4 in D-minor, op.120

指揮：小林研一郎 [桂冠名誉指揮者]

Conductor: KOBAYASHI Ken-ichiro, Honorary Conductor Laureate

ピアノ：小山実稚恵

Piano: KOYAMA Michie

コンサートマスター：田野倉雅秋 [日本フィル・ソロ・コンサートマスター]

Concertmaster: TANOKURA Masaaki, JPO Solo Concertmaster

※当初の予定より出演者・プログラムが変更になりました。

指揮：小林研一郎 [桂冠名誉指揮者]

©山本倫子



東京藝術大学作曲科及び指揮科を卒業。第1回ブダペスト国際指揮者コンクールでの鮮烈な優勝を飾ったことを皮切りに世界的に活動の場を拡げ、現在も第一線で活躍を続けている。音楽に対する真摯な姿勢と情熱的な指揮ぶりは「炎のコバケン」の愛称で親しまれ、名実共に日本を代表する指揮者である。

これまでに海外ではハンガリー国立フィル、チェコ・フィル、ネーデルランド・フィル（25年間、常任客演指揮者を務める）、アーネム・フィル、ロイヤル・コンサートヘボウ、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス、フランス国立放送フィル、ローマ・サンタ・チェチーリア、ロンドン・フィル、ハンガリー放送響等、国内ではN響、読響、日本フィル、都響、名古屋フィル、京響、大阪フィル、九響等、名立たるオーケストラと共演を重ね、数多くのポジションを歴任。2002年ブラハの春音楽祭では東洋人初のオープニング「わが祖国」を指揮して万雷の拍手を浴びた。この長年にわたる文化を通じた国際交流や社会貢献によって、ハンガリー政府よりハンガリー国大十字功労勲章（同国で最高位）等、国内では旭日中綬章、文化庁長官表彰、恩賜賞・日本芸術院賞等を受賞。

作曲家としても数多くの作品を書き、1999年に日本・オランダ交流400年記念の委嘱作品、管弦楽曲『パッサカリア』を作曲、ネーデルランド・フィルによって初演されると、聴衆から熱狂的な喝采を以て迎えられた。同作品はそれ以降もアッシュケナージ指揮N響、小林研一郎指揮日本フィル等で再演されている。2005年、社会貢献を目的としたオーケストラ「コバケンとその仲間たちオーケストラ」を設立、以来全国にて活動をしている。

CD、DVDはオクタヴィア・レコードより多数リリース。著書に『指揮者のひとりごと』（日本図書協会選定図書）等がある。

現在、日本フィル桂冠名誉指揮者、ハンガリー国立フィル・名古屋フィル・群響桂冠指揮者、読響特別客演指揮者、九響名誉客演指揮者、東京藝術大学・東京音楽大学・リスト音楽院名誉教授、ロームミュージックファンデーション評議員等を務める。

オフィシャル・ホームページ <http://www.it-japan.co.jp/kobaken/>

ピアノ：小山実稚恵

©Hideki Otsuka



圧倒的存在感をもつ日本を代表するピアニスト。チャイコフスキー国際コンクール、ショパン国際ピアノコンクール入賞以来、常に第一線で活躍し続けている。

協奏曲のレパートリーは60曲を超え、国内外の主要オーケストラや指揮者からの信頼も厚く、数多くの演奏会にソリストとして指名されている。2016年度芸術選奨文部科学大臣賞を受賞した『12年間・24回リサイタルシリーズ』（2006年～17年）や『ベートーヴェン、そして...』（2019年～21年）が、その演奏と企画性で高く評価された。22年からはサントリーホール・シリーズ、第Iシーズン Concerto〈以心伝心〉を25年まで開催する。

これまでに国内の主要オーケストラはもとより、チャイコフスキー・シンフォニー・オーケストラ、ロイヤル・フィル、BBC響、シンフォニア・ヴァルソヴィア、モントリオール響などと共演しており、国際的指揮者との共演も数多い。また、ショパン、チャイコフスキー、ロン＝ティボー、ミュンヘンなどの国際コンクールでは審査員を務める。

東日本大震災以降、被災地でも演奏を行い、仙台では被災地活動の一環として自ら企画立案した「こどもの夢ひろば“ボレロ”」を開催。

CDは、ソニー・ミュージックレーベルズと専属契約を結び、33枚をリリース。近作の2つのベートーヴェン・アルバム『ハンマークラヴィーア・ソナタ他』（2020年）と『ピアノ・ソナタ第30、31、32番』（2021年）は、深化するピアノズムが大きな話題を集め、共に「レコード芸術」特選盤に選ばれた。最新CDは、23年5月にリリースした『モノローグ』。

著書として『点と魂と一スweetsポットを探して』をKADOKAWAより、また平野昭氏との共著『ベートーヴェンとピアノ』（全2巻）を音楽之友社より出版している。

これまで、05年度文化庁芸術祭大賞、13年度東燃ゼネラル音楽賞本賞、15年度文化庁芸術祭優秀賞、16年度芸術選奨文部科学大臣賞を受賞。18年度大阪市民表彰を受ける。17年度には、紫綬褒章を受章している。

お客様へのお願い ●演奏中はお手持ちの時計のアラーム、または携帯電話などの電源はお切りください。手荷物、傘、チラシ類などの物音、話し声や体の動きなどで他のお客様のご迷惑にならないようご配慮をお願い申し上げます。尚、録音、録画、演奏中の写真撮影は固くお断りしております。

この演奏会では、目の不自由なお客様のために点字プログラムをご用意しております。ご要望の方は主催受付までお申し出ください。

感染予防のご案内



チャイコフスキー：ピアノ協奏曲第1番 変ロ短調 op.23

有名協奏曲の代表格ともいえるこのピアノ協奏曲の作曲は、1874年暮れから翌75年初頭にかけて短期間に行われた。

作曲者のピョートル・チャイコフスキー(1840-1893)は、当時モスクワ音楽院の教授として働いていた頃。この協奏曲を完成させた直後には、同音楽院の初代院長であり、名ピアニストでもあったニコライ・ルビンシテイン(1835-1881)に献呈を考えていた。しかし試演を聴いたルビンシテインは、チャイコフスキーの期待に反してこの作品を酷評し、それがもとで二人の間に亀裂が生じてしまう。

だがチャイコフスキーは、この協奏曲の出来栄に自信を持っていた。そこで彼はルビンシテインの改訂の忠告には従わず、これまでも彼の作品を好意的に演奏してきてくれたドイツの指揮者・ピアニストのハンス・フォン・ビューロー(1830-94)に、この楽譜を送る。ビューローはこの作品の独創性を認め、折からのアメリカへの演奏旅行にこの作品を携えて出発、1875年ボストンにおける公演で初演し大成功を収めたのだった。

第1楽章：アレグロ・ノン・トロppo・エ・モルト・マエストロソ、変ロ短調、ソナタ形式による。やや長めの導入部を経た後に現れる有名な第1主題は、作曲者がウクライナのカメンカで耳にした俗謡に基づくもの。休符を含む三連音の引きずるような動きが印象的である。続く抒情的な第2・第3の主題は展開部でさまざまに活用され、第1主題の再現を経た後に前述の第2・第3主題を活用した長大なカデンツァに至る。

第2楽章：アンダンティーノ・センプリーチェ、変ニ長調、三部形式。フルートからピアノに受け継がれる牧歌風ののどかな主題に続き、ピアノが俗謡に由来する断片を奏でる。中間部ではそれらの断片が一瞬のうちに高潮し、オーケストラの爆発と独奏ピアノの飛沫を散らすような細やかな音型を頂点として徐々に鎮静、冒頭の田園的テーマが再帰する。

第3楽章：アレグロ・コン・フォーコ、変ロ短調、ロンド形式。第1主題はウクライナ民舞「ベスニヤンカ」の音楽をもとにしている。スラヴ風の骨太さを具えた、華やかかつ超絶技巧のピアノ独奏の技が十二分に発揮される。

楽器編成 独奏ピアノ、フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン4、トランペット2、トロンボーン2、バス・トロンボーン1、ティンパニ1、弦楽5部。

シューマン：交響曲第4番 ニ短調 op.120

19世紀市民社会の到来と成熟の時代を生きたロベルト・シューマン(1810-1856/なお同年にポーランドではショパンが生まれている)。「ロマン派」という西洋音楽史の輝かしい時代を過ごした作曲家として、現在も広く親しまれている。しかしショパンが主にピアノ曲(あるいはピアノが関係する曲)をもっぱら作曲し続けたのに対し、シューマンは交響曲から協奏曲、

器楽曲、室内楽、歌曲、宗教曲、オペラ…といった具合に、様々なジャンルに取り組んだ。

本日演奏される『交響曲第4番』は、シューマンの交響曲としては2曲目にあたる(未完のものを除く)。『交響曲第1番《春》』と同じ1841年に作曲、「第2番」として初演されたが世評が芳しくなかったために出版は見合わされた。

それから10年後の1851年、当時シューマンが率いていたデュッセルドルフのオーケストラとの良好な関係をきっかけに、彼はかつて「第2番」として初演した交響曲の改訂を思い立つ。シューマンはその時まで3曲の交響曲を発表していたため、この1851年版は改めて『交響曲第4番』として世に出ることとなった。

初稿に比べて構成面での充実が顕著であり、ベテラン作曲家による一段と練られた作品へと変化を遂げている。1841年の版の素朴さや簡潔さを支持する声も根強いが、この作品が現在のような知名度を得るに至ったのは、やはりこの改訂版の存在を抜きに考えられない。

全体は、交響曲の構成の定番として4つの楽章から成るが、この作品ではそれぞれの楽章が切れ目なく演奏される。つまりシューマンとしては、4つの部分からなる1つの大きな音による物語を作りたいかったということなのだろう。苦悩の影を色濃く宿した第1楽章、またそこに登場した動機が、様々な変容を遂げながら、第4楽章の輝かしい勝利の凱歌へと結実する。つまり、シューマン自身がこよなく崇拝していた先達、ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン(1770-1827)が交響曲というジャンルでおこなったことを継承発展させ、特に第3楽章から第4楽章への橋渡しの部分は、ベートーヴェンの『交響曲第5番《運命》』を彷彿させる構造だ。

第1楽章：再現部の無いソナタ形式。序奏：かなり遅く、ニ短調、4分の3拍子

主部：生き生きと、ニ短調、4分の2拍子

第2楽章：ロマンツェ 三部形式。かなり遅く、イ短調、4分の3拍子

第3楽章：スケルツォ 三部形式。生き生きと、ニ短調、4分の3拍子。アタッカでそのまま4楽章へ続く。

第4楽章：ソナタ形式。序奏：遅く、ニ短調 主部：生き生きと、ニ長調、4分の4拍子

楽器編成 フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン4、トランペット2、トロンボーン2、バス・トロンボーン1、ティンパニ1、弦楽5部。



今日のコンサートの聴きどころは？

音楽評論家 奥田佳道さんの面白解説をお楽しみください！

16時20分
より
大ホール内
にて♪



奥田佳道(おくだ よしみち) ● 1962年東京生まれ。ヴァイオリン、ドイツ文学、西洋音楽史を学ぶ。ウィーン大学に留学。「音楽の友」などに寄稿するほか、数々の音楽番組に出演。NHK日曜朝のラジオ「音楽の泉」第4代解説者。ラジオ深夜便「クラシックの遺伝子」に出演中。著書に「これがヴァイオリンの銘器だ!」他。NPO法人東京ジュニアオーケストラササエティ理事。



Column

歴史でひもとく! ~クラシックこぼれ話 by 小宮正安



ベートーヴェンをめぐる姿勢

曲目解説でも書いたように、シューマンはベートーヴェンに対し、熱烈な崇拝の情を抱いていた。作曲活動と並行して行っていた評論活動でも、ベートーヴェンに対する熱烈な賛辞を折に触れて述べている。あるいは自ら、『ベートーヴェンの主題による自由な変奏形式の練習曲』なるピアノ曲も作っているほど。本日演奏される『交響曲第4番』も、まさにこうしたシューマンのベートーヴェンへの共感を基に生まれたものに他ならない。

だがそのモデルとなったであろう、ベートーヴェンの『交響曲第5番《運命》』とシューマンのそれとを比べてみると、「作曲者が違うから」という以上の相違点が聞こえてはこないだろうか。たとえばベートーヴェンが「ジャジャジャジャー」と勢いよく曲をスタートさせるのに対し、シューマンはまず深いため息をつくようなほの暗い前奏を持ってくる（曲がようやく激しさを増すのは、第1楽章の開始後およそ2分経ってからのことである）。

ここに、若き日にフランス革命を…直接ではないにせよ…経験したベートーヴェンと、フランス革命が最終的に暗礁に乗り上げ、逆に保守反動の時代が訪れる中で人生を送ったシューマンとの違いが刻印されていないだろうか。シューマンが生きた19世紀前半は、革命の再発を恐れるヨーロッパ中の権力者たちが、政治的な自由を力づくで抑え込んだ時代。そうした中で、シューマン自身、本来であれば社会変革に注げるエネルギーを公に発揮できず、ただだからこそそれを、自分の内面へ内面へと向けていった。

そうした流れこそが、19世紀の一大芸術潮流となった「ロマン派」を生み出す。ベートーヴェンのパワーやエネルギーに憧れつつも、それを十二分に発揮できない彼の後に続く世代たち…。ちなみに、やはりロマン派の流れを汲む作曲家のチャイコフスキーは、ベートーヴェンを尊敬しつつ…というよりも畏怖の念を抱きつつ、好意を持てる対象とは捉えていなかったようである。彼が心から共感を寄せていたのは、厳めしいベートーヴェンではなく、愛らしいモーツァルトだった。

Next YOKOHAMA

第389回横浜定期演奏会 ~旧時代の超克 新時代への挑戦~

2023年7月1日(土) 17:00 横浜みなとみらいホール

指揮: 川瀬賢太郎 ピアノ: 菊池洋子

モーツァルト:
歌劇《フィガロの結婚》K.492 序曲モーツァルト:
ピアノ協奏曲第25番 ハ長調 K.503

ストラヴィンスキー: バレエ音楽《春の祭典》

© Yoshinori Kurosawa

© Yuji Hori



川瀬賢太郎

菊池洋子

S ¥8,000 A ¥6,500 B ¥6,000 C ¥5,000 P ¥4,000 Ys (25歳以下) ¥1,500

※ Ys席はS席以外から選べます。 ※障害者手帳をお持ちの方は、サービスセンターへお問い合わせください。

好評発売中!

コバケン・ワールド Vol.35

2023年9月24日(日) 14:00 東京芸術劇場

指揮とお話: 小林研一郎 [桂冠名誉指揮者]

ピアノ: 仲道郁代

ベートーヴェン:

ピアノ協奏曲第5番《皇帝》変ホ長調 op.73

ブラームス: 交響曲第1番 ハ短調 op.68



© 山本倫子

© Tomoko Hidaki

S ¥6,800 A ¥5,300 B ¥4,200 P ¥3,200 Gs ¥4,500 Ks ¥1,500

日本フィル&サントリーホール にじくら〜トークと笑顔と、音楽と 第2回

2023年9月26日(火) 14:00 サントリーホール

指揮: 広上淳一

© Masaaki Tomitori

ヴァイオリン: 成田達輝

ピアノ: 萩原麻未

ナビゲーター: 高橋克典



© Marco Borggreve

© Marco Borggreve

サン＝サーンス (イザイ編曲): ワルツ形式の練習曲によるカプリース

モーツァルト: ピアノ協奏曲第21番 ハ長調 K.467 より 第2楽章

メンデルスゾーン: ヴァイオリン、ピアノと弦楽のための協奏曲 ニ短調 より 第3楽章

チャイコフスキー: 幻想序曲《ロメオとジュリエット》

オルガン・プレコンサート
13:40 ~

【1回券】 S 席 ¥5,500 A 席 ¥3,800 S 席ペア ¥10,000 (S 席 2枚)

■【予告】来月(7/1)はシーズンファイナルパーティー開催!

横浜定期恒例のシーズンファイナルパーティーが復活! 終演後1階客席ホワイエにて出演者のトーク、楽員による演奏をお楽しみいただきます。奮ってご参加ください。 ※ドリンクの提供は見合わせます。



■テレビ番組レギュラー出演のお知らせ

日本フィルがBSに。指揮者が語るミニ番組!『Welcome クラシック』BS朝日 毎週水曜日 22:54 ~ 23:00 (第3週、第4週は再放送)。4月~6月は広上マエトロ。ぜひご覧ください!

■本日の公演は終演時のカーテンコールでの写真撮影が可能です。

携帯電話・スマートフォン付属のカメラで着席のまま撮影をお願いいたします。フラッシュ、動画撮影はお控えください。詳しくは会場の掲示をご覧ください。

好評発売中!

- ▶2023/24 シーズン 年間 東京・横浜 定期会員券
- ▶2023/24 シーズン 秋季 東京・横浜 定期会員券

6/23 金 発売!

- ▶2023/24 シーズン 秋季 東京・横浜定期演奏会 1回券

6/28 水 発売!

第401回名曲コンサート

2023年9月10日(日) 14:00
サントリーホール

指揮: 小林研一郎 [桂冠名誉指揮者]

ヴァイオリン: 高木凜々子

オルガン: 石丸由佳

サラサーテ: ツィゴイネルワイゼン

サン=サーンス: 交響曲第3番 他
《オルガン付き》

◆定期会員券ご寄付のお願い◆

お客様のご都合により、定期演奏会にご来場いただけなくなった時は、是非日本フィルにチケットをご寄付ください。有効に活用させていただきます。

【ご寄付の方法】

ご寄付いただける会員券の公演日・座席数・座席番号を日本フィル・サービスセンターにお電話かFAX、メールにてご連絡の上、会員券をご郵送ください。主催会場でも受け付けます。

- 公演1週間前のご寄付に関しては、会員券のご郵送は不要です。●会員券のご郵送代はお客様にてご負担いただきます様ご協力をお願いいたします。
- ご寄付いただいた定期会員の皆様には、ご寄付いただきました公演月のプログラム冊子を後日ご郵送いたします。また、翌月または翌々月のプログラムにご芳名を掲載させていただきますので、掲載をご希望されないお客様はご連絡をお願いいたします。

日本フィル・サービスセンター

〒166-0011
東京都杉並区梅里1-6-1

TEL: 03-5378-5911 (平日10時~17時)

FAX: 03-5378-6161 (24時間)

e-mail: order-ticket@japanphil.or.jp

「ミュージックポート ヨコハマ・シリーズ」定期会員の特典

横浜ベイホテル東急(横浜みなとみらいホール向かい)にて、メンバーズ優待を行っております。

飲食: 下記店舗で、飲食料金が10%OFFとなります。(4名様まで) ※除外日および対象外メニューあり

オールディダイニング「カフェ トスカ」/ラウンジ「ソマーハウス」/日本料理「大志満」
中国料理「スーツァンレストラン」

※会計時に「ミュージックポート ヨコハマ・シリーズ」定期会員券をご提示ください。※この割引は日本フィルのコンサート開催日以外にも有効です。
※指定以外の店舗、および宴会は対象外ですご了承ください。※他の特典・割引との併用はいたしかねます。

公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団 (1956年6月創立)

- 創立指揮者/渡邊曉雄
- 桂冠名誉指揮者/小林研一郎
- 名誉指揮者/ルカーチ・エルヴィン
- 名誉指揮者/ジェームズ・ロッドラン
- 客員首席指揮者/ネーメ・ヤルヴィ

- 首席指揮者/ビエタリ・インキネン
- 桂冠指揮者兼芸術顧問/アレクサンドル・ラザレフ
- フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)/広上淳一
- 首席客演指揮者/カーチュン・ウォン



公式Twitter
@Japanphil



公式
アカウント



ソロ・コンサートマスター

扇谷泰朋
木野雅之
田野倉雅秋

アシスタント・
コンサートマスター
千葉清加

第1ヴァイオリン

伊藤太郎
太田麻衣
九鬼明子

齋藤政和
榊 渚
竹歳夏鈴

谷崎大起
田村昭博
中谷郁子

西村優子
平井幸子
本田純一

コントラバス

鈴木優介
◎高山智仁
◎成澤美紀

◎宮坂典幸
◎森田麻友美
山口雅之

フルート
齋藤光晴
難波 薫

◎真鍋恵子
オーボエ
佐竹真登

◎杉原由希子
◎松岡裕雅
クラリネット

◎伊藤寛隆
◎楠木 慶
照沼夢輝

堂面宏起
ファゴット
大内秀介

◎鈴木一志
◎田吉佑久子
中川日出鷹

ホルン
伊藤 舜
宇田紀夫

◎信末碩才
原川翔太郎
☆丸山 勉

村中美菜

ソロ・チェロ

菊地知也
チェロ
石崎美雨

江原 望
大澤哲弥
久保公人

山田智樹
コントラバス
鈴木優介

◎高山智仁
◎成澤美紀
◎宮坂典幸

◎森田麻友美
山口雅之
フルート

齋藤光晴
難波 薫
◎真鍋恵子

オーボエ
佐竹真登
◎杉原由希子

◎松岡裕雅
クラリネット
◎伊藤寛隆

◎楠木 慶
照沼夢輝
堂面宏起

ファゴット
大内秀介
◎鈴木一志

◎田吉佑久子
中川日出鷹
ホルン

伊藤 舜
宇田紀夫
◎信末碩才

原川翔太郎
☆丸山 勉
村中美菜

◎首席奏者
◎副首席奏者
☆客演首席奏者

□試用期間

ソロ・トランペット

オッタビアーノ・
クリスト・フォリ
トランペット

◎大綱伸紀
◎大西敏幸
中里州宏

中務朋子
星野 究
トロンボーン

◎伊藤雄太
◎笠間勇登
バス・トロンボーン

中根幹太
テューバ
柳生和大

ティンパニ
◎エリック・バケラ
パーカッション

大河原 渉
ハーブ
松井久子

楽団長
中根幹太
チーフステージマネージャー

阿部紋子
ステージスタッフ
長橋健太

森田大翔
チーフインスペクター
佐藤駿一郎

インスペクター
宇田紀夫
鈴木優介

ライブラリアン
鬼頭さやか
杉本哲也

◎首席奏者
◎副首席奏者
☆客演首席奏者

□試用期間

(2023年6月1日現在)

理事長(代表理事)

平井俊邦
副理事長(代表理事)
五味康昌

常務理事(代表理事)
後藤朋俊
常務理事(代表理事)

中根幹太
常務理事(代表理事)
福井英次

理事
石井啓一郎
遠藤 滋

佐々木経世
田村浩章
戸所邦弘

福本ともみ
監事
上條貞夫

福澤宏哉
評議員会会長
加藤丈夫

評議員
青井 浩
安孫子 正

荒時康一郎
石塚邦雄
石村 等

稲垣 尚
内川清雄
大塚宣夫

海堀周造
梶浦卓一
河北博文

喜多崇介
木村恵司
久保田 隆

小林研一郎
島田精一
津田義久

西澤 豊
野間省伸
葉田順治

村上典吏子
山口多賀幸

名誉顧問

熊谷直彦
島田晴雄
田邊 稔

アドバイザリー・ボード
大島 剛
小野敏夫

小網忠明
後藤 茂
武田隆男

田邊 稔
溝口文雄
コミュニケーション・ディレクター

マイケル・スペンサー
マネジメント・スタッフ
浅見浩司

磯部一史
江原陽子
及川ひろか

小川紗智子
荻島里帆
賀澤美和

柏熊由紀子
小須田萌
佐々木文雄

澤田智夫
篠崎めぐみ
清水佑香子

杉山綾子
杉山まどか
高橋勇人

田中正彦
槌谷祐子
中村沙緒里

西田大輔
長谷川珠子
藤田千明

別府一樹
益満行裕
宗澤晶子

山岸淳子
吉岡浩子
シニア・パートナー

新井康久
伊波 睦
永島義郎

団友

青柳哲夫
青山 均
赤堀泰江

新井豊治
伊藤恒男
伊波 睦

遠藤 功
遠藤剛史
大石 修

大川内 弘
大味 修
寛 美知子

金本順子
蒲谷隆行
川口和宏

岸良開城
吉川利幸
木村正伸

小林俊夫
小山 清
斎藤千種

佐々木裕司
菅原 光
高木裕子

高木 洋
高倉理実
田沢 烈

立川和男
堂阪俊子
豊盛尚代

富田尚生
中川二朗
永田健一

中務幸彦
奈切敏郎
橋本 洋

畑井紀代子
平賀法子
福島喜裕

松本克己
松本伸二
三克良平

三好明子
森 茂
山下進三

山本淑子
山本辰夫
渡辺哲雄